

【エリアの特性】

＜自然＞

市街地の中に水路が流れるまち

摂南大学の校庭の西側に寝屋川第四水路、国道1号（京阪国道）沿いに点野第一水路、第八中学校の校庭の南側に仁和寺第一水路が流れ、これらの水路が仁和寺点野線付近で合流し、寝屋川第五水路として流れています。

＜歴史・文化＞

鷹狩を禁制した野である歴史を有するまち

点野（点野三丁目）及び葛原（葛原二丁目）の旧集落が位置しています。木屋門真線沿いには、菅原神社（池田中町）の社寺林、西寝屋川高校横に菅原神社（葛原二丁目）の社寺林があります。

仁和寺4号線及び寝屋川第五水路沿いは歴史の面影を残すルートとなっています。

＜人工・都市＞

淀川沿いの幹線道路に囲まれた業務・文教施設が集積するまち

国道1号（京阪国道）や京都守口線、茨木寝屋川線、（都）千里丘寝屋川線などの幹線道路に囲まれ、それらの沿道には、数多くの工場・業務施設が集積しています。

池田中町には摂南大学が、点野五丁目及び葛原二丁目には西寝屋川高校、第八中学校、点野小学校の文教施設があります。

景観整備の方向

淀川河川沿いに広がる産業・住宅のまちに文化の香り自然の感じられる界隈性のあるまち

景観形成の基本目標

景観形成に向けた誘導基本方針

＜自然＞

- エリアの北側に池田第一水路、摂南大学付近に寝屋川第四水路、西側の旧集落地沿いに点野第一水路、その南側の中学校・高校沿いに仁和寺第一水路などが流れる水際空間を活かすまち

- 水路を活かす。
・ 水路の親水性を向上し、景観資源として活用

＜歴史・文化＞

- 古代の天皇の鷹狩場、近世の旧京街道などの歴史を持つ点野の旧集落、葛原の旧集落、菅原神社（池田中町、葛原二丁目）など歴史的な景観を活かすまち

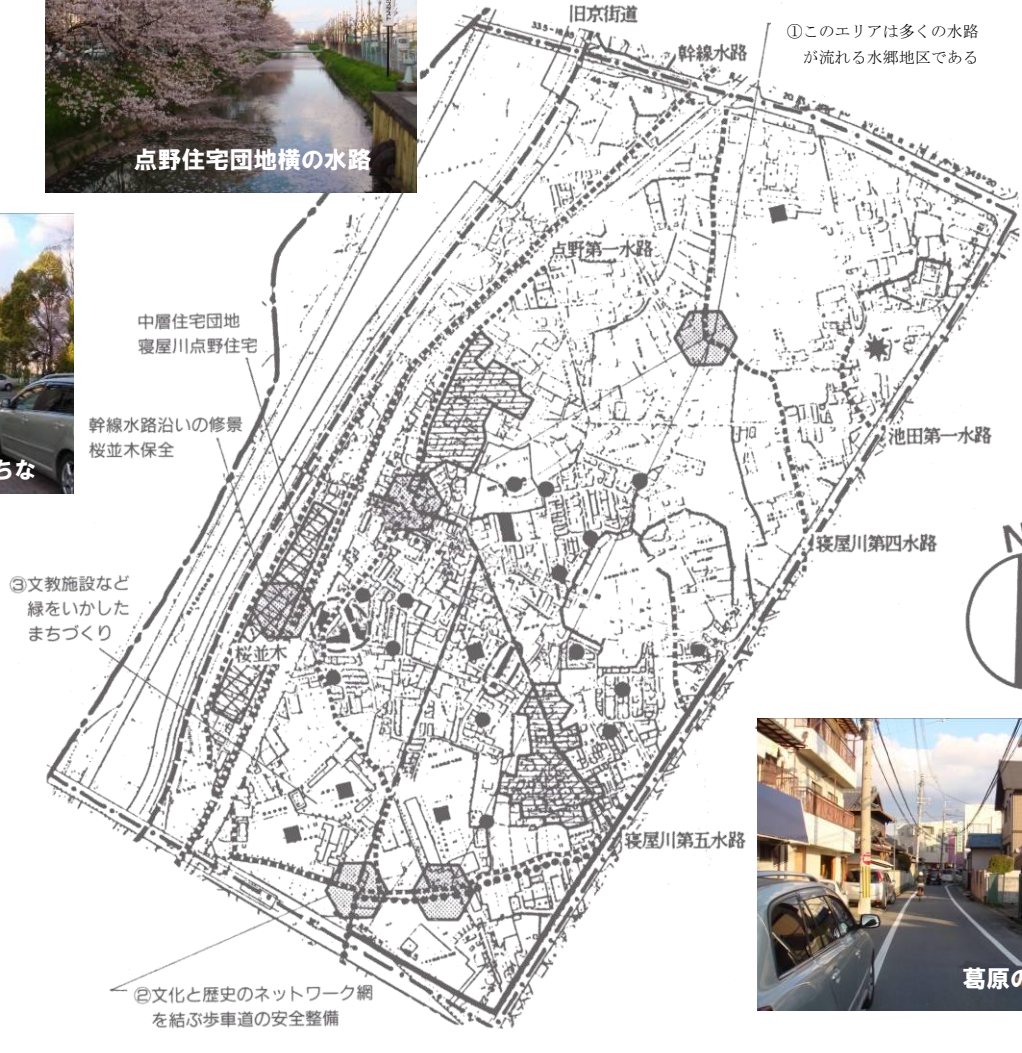
- 歴史の香りを大切にす
る。
・ 点野・葛原の旧集落の景観や付近に残された田園風景の活用
・ 社寺や社寺林の緑と付近のまちなみとの調和

＜人工・都市＞

- 幹線道路に囲まれた業務・工場などと、大学、小・中・高校などの教育施設や住宅地などが調和する界隈性のあるまち

- 調和のとれた住・工・文教の界隈性のあるまちとする。
・ 住み・働き・遊ぶなど多様な機能が融合した界隈性の演出
・ 工場・事業所などの建物に緑が映える演出
・ 周辺市街地と調和する幹線道路沿道景観の誘導

景観資源と特性図



■景観基本単位

名称	<旧集落地>点野(点野3丁目)	<旧集落地>葛原(葛原2丁目)	<中層住宅団地>寝屋川点野住宅
景観整備の目標	○古代の天皇の鷹狩場、近世の淀川堤(文禄堤)の旧京街道などを偲ぶ歴史を守り育てる。 ・集落地内の細い道、水路沿いの古いまちなみを大切にする。	○対馬江点野線の沿道で即園寺付近の旧集落地や田園風景を守り育てる。 ・集落地内の細い道、田園風景を大切にする。	○中層住宅団地に水辺の公園と緑を活かす。 ・淀川河川公園(緑地)の美しい芝生、幹線水路の桜並木などの緑を中層住宅団地に活かす。
活用する景観資源	○古いまちなみの活用 ○水路の活用 ○生産緑地の活用 ○対馬江点野線などを歩行者に優しい道路として活用	○古いまちなみの活用 ○生産緑地の活用 ○社寺や社寺林の活用 ○寝屋川第五水路沿い通路などを水際の散策路、歴史に親しめるルートとして活用	○旧京街道(淀川堤防上)を歴史散策路として活用 ○淀川堤防と団地間の水路の活用 ○公園の芝生、幹線水路沿いの桜並木の活用 ○国道1号(京阪国道)沿いの緑の活用